



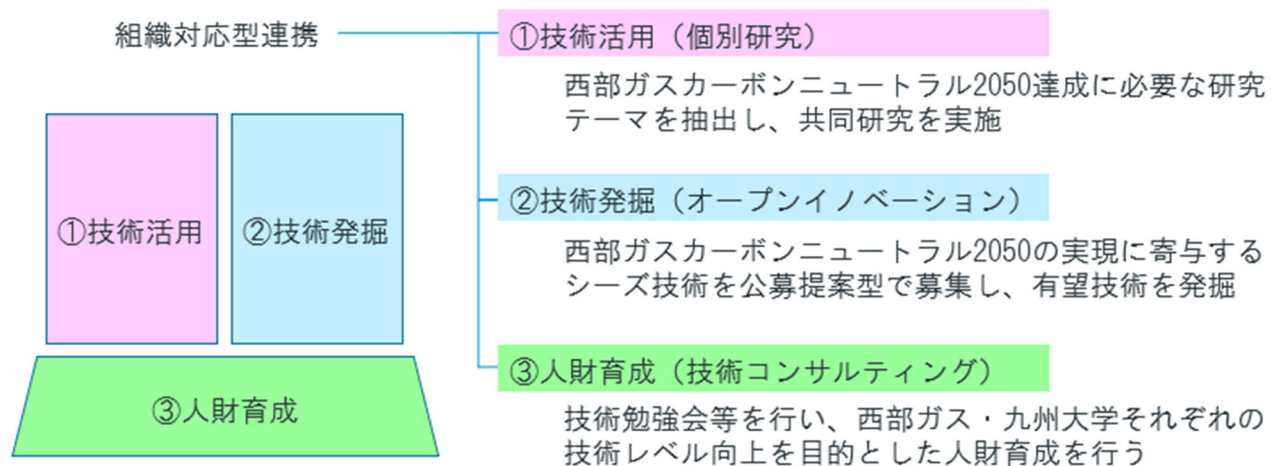
「カーボンニュートラル化社会実現を支える技術の開発」に関する 西部ガス株式会社との組織対応型連携について

九州大学は、西部ガス株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：道永 幸典、以下「西部ガス」）と、2021年7月1日、「カーボンニュートラル化社会実現を支える技術の開発」に関する組織対応型連携契約を締結し、この度連携協議会を開催して、具体的な取り組みを開始しました。

この連携は、西部ガスの研究開発力強化と九州大学の学術研究・教育活動の活性化を図ることを目的としています。これまでも、西部ガスとは水素活用に関する共同研究等を行ってまいりましたが、今回は、さらに広いカーボンニュートラルを実現させるための共同研究等を行うことに致しました。この連携におきましては、「西部ガスグループカーボンニュートラル 2050」達成を目指し、メタネーション技術やCO₂回収技術などの研究を共同で行うほか、その実現に寄与する有望技術を発掘してまいります。

九州大学は2030年に向けたビジョンとして「総合知で社会変革を牽引する大学」を掲げています。12学部の知の融合による総合知によって、社会課題を解決していくとともに、これまでの産学連携の取組をさらに推進してまいります。

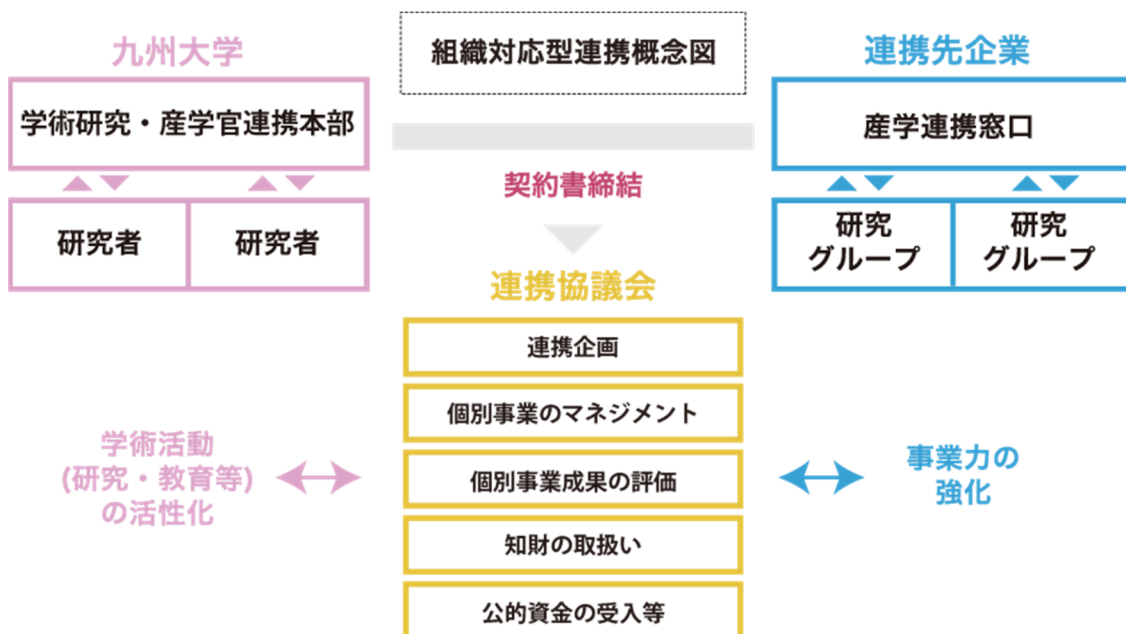
■組織対応型連携を活用した具体的な取り組み事項



■有効期間

2021年7月1日～2024年3月31日

(参考) 組織対応型連携の概要



■連携協議会キックオフミーティングの様子



以上

【お問い合わせ】 九州大学 学術研究・産学官連携本部
産学官連携推進グループ
Mail: alliance@airimaq.kyushu-u.ac.jp